

1. 公益財団法人那珂川沿岸土地改良基金協会 平成30年度 事業報告書

I. 事務事業の実施状況について

- (1) 収入の部については、予算額 282,024,000円 に対して 281,988,984円の決算(35,016円の収入減)となった。

【決算額内訳：基本財産運用収入 12,041,800円、負担金収入 140,443,000円、補助金等収入 8,740,200円、特定資産運用収入 87,375,547円、雑収入 23,238円、前期繰越収支差額 33,365,199円】

- (2) 支出の部については、予算額 282,024,000円 に対して 281,988,984円の決算(35,016円の支出減)となった。

【決算額のうち事業活動支出額内訳：特定資産積立として 211,107,573円(国営事業積立金 210,586,551円、退職給付積立金 521,022円)の積立をした。また、事業費、管理費、雑支出、予備費の合計支出額は 38,711,748円となった。】

なお、収入合計と事業活動支出計の差である 32,169,663円 が次期繰越収支差額となった。

II. 法人の運営状況について

(1) 会議・研修会等の開催

区分	年月日	開催場所	内容
1 監査	H30.5.8	基金協会事務所	平成29年度 事業報告及び決算について
2 第21回 理事会	H30.5.11	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①平成29年度 事業報告及び決算について ②第12回評議員会の開催について
3 第12回 評議員会 【書面議決】提案説明会	H30.5.29	ワークプラザ 勝田 会議室	①平成29年度 事業報告及び決算について ②理事及び監事の選任について
4 第22回 理事会 【書面議決】	H30.6.18	—	理事長、副理事長及び常務理事の選定について
5 第7回 那珂川沿岸 農業水利事業に係る 償還対策検討会	H30.7.4	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	資金の運用について
6 平成30年度 県出資法人等経営評価	H30.7.24	県庁18階 行政監察室	県より、目的適合性、計画性、組織運営健全性、効率性、財務健全性についての検査(概ね良好)
7 第8回 那珂川沿岸 農業水利事業に係る 償還対策検討会	H30.8.31	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①資金対策について ②市町村負担額について
8 第23回 理事会 【書面議決】	H30.10.9	—	①平成30年度 資金の運用方針について ②国債の購入について
9 畑かん営農 モデル地区 現地研修会	H30.10.17	荒川中部土地 改良区 (埼玉県深谷市)	国営荒川中部農業水利事業の概要と土地改良施設管理業務 国営用水を活用した施設・露地営農の展開 参加者：55名
10 畑かん営農 モデル地区 現地研修会	H30.11.14	県農業総合センター (笠間市安居)・ (株)HATAKEカンパニー (つくば市西高野)	①高軒高ハウス・CO ₂ 施用等を活用したトマト栽培技術の開発 ②農家が儲かる仕組みづくりを目指すベビーリーフの大規模 生産の経営 参加者：40名
11 那珂川沿岸地域 用水営農推進 講演会	H30.11.28	ケーズデンキ スタジアム水戸 多目的室	①演題「農地の集約規模拡大による低コスト化とICTの活用について」(有限会社 横田農場 代表取締役 横田 修一 氏) ②演題「茨城県における省力低コスト化高収量生産技術の実証と実践」 (茨城県農業総合センター農業研究所 主任研究員 森 拓也 氏) 参加者：51名
12 中間監査	H30.12.20	基金協会事務所	平成30年度 事業及び予算の執行状況について
13 平成30年度 実地検査	H30.12.25	基金協会事務所	県より、中期計画に基づく事業執行や基金の運用等についての検査(特に指摘無し)
14 第24回 理事会	H31.2.18	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①平成30年度 収入支出変更予算について ②平成31年度 事業計画及び収入支出予算について ほか計9議案
15 第9回 那珂川沿岸 農業水利事業に係る 償還対策検討会	H31.2.20	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①資金対策について ②市町村負担額について
16 第13回 評議員会 【書面議決】	H31.3.6	—	評議員2名の選任について

(2) 資産の状況

① 基本財産	718,456,118 円 (評価額)	: 有価証券 国債 4本
② 運用財産	7,375,823,914 円 (評価額)	: 有価証券 国債18本・定期預金
合計	8,094,280,032 円	

※ 詳細は、財産目録のとおり

(3) 那珂川沿岸用水営農の推進

① 畑かん営農モデル地区現地研修会の開催

目的 那珂川沿岸に係わる市町村の農業振興や、農業用水を活用する畑地かんがい営農について先進事例を研修し、今後の営農推進活動に繋げる。

①-1

開催日	平成30年10月17日
研修地等	埼玉県深谷市「荒川中部土地改良区」 ・国営荒川中部農業水利事業の概要と土地改良施設管理業務について ・国営用水を活用した施設・露地営農の展開について
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計55名

①-2

開催日	平成30年11月14日
研修地等	笠間市安居「茨城県農業総合センター園芸研究所」 ・高軒高ハウス・CO ₂ 施用等を活用したトマト栽培技術の開発について つくば市西高野「株式会社 HATAKEカンパニー」 ・農家が儲かる仕組みづくりを目指すベビーリーフの大規模生産の経営について
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計40名

成果

改良区からは、水利施設の管理体制や農家負担軽減策の取り組みについて説明があり、農業総合センターと農業生産法人からは、安定的な農業用水の確保が重要であるとの説明を受けた。

また畑かん施設整備がされたほ場において、畑かん営農に関する活発な意見交換が行われるなど、那珂川沿岸地域の農業振興や産地化推進に大きく寄与した。

② 那珂川沿岸地域用水営農推進講演会の開催

目的 那珂川沿岸地域受益農家及び関係市町村担当者を対象に、畑地かんがい営農実現への意欲を高めるとともに、那珂川沿岸農業水利事業に対する意識の高揚と農業者に対する啓発普及を図る。

開催日	平成30年11月28日
会場	水戸市小吹町「ケーズデンキスタジアム水戸(水戸市立競技場)」多目的室
演題	・農地の集約規模拡大による低コスト化とICTの活用について
講師	(有限会社 横田農場 代表取締役 横田 修一 氏)
演題	・茨城県における省力低コスト化高収量生産技術の実証と実践
講師	(茨城県農業総合センター農業研究所 主任研究員 森 拓也 氏)
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計51名

成果

農業生産法人からは、農地の規模拡大・集約化と多品種栽培によって大幅なコスト削減を可能とした取り組みやICTの導入による効率的な農業経営について説明があり、農業総合センターからは、スマート農業実証研究より、革新的な栽培技術を活用し省力・低コスト化と収量向上につながる生産技術の導入事例成果について説明を受けた。

これらの先進的な取り組みは、那珂川沿岸地区の営農推進に大きく寄与した。

③ 畑かん営農モデル展示事業の実施

畑地かんがいのかん水効果を把握するため、かん水区と無かん水区(天水のみ)を設定し、かん水効果の実証調査を実施した。

また、暫定水源として三美地区に設置してある給水スタンドの利用状況を調査した。

a. かん水・無かん水の生育収量調査 6地区で7作目実施

対象作物	アスパラガス	ブロッコリー	ほうれんそう	露地ねぎ	はくさい
圃場位置	城里町 増井	水戸市 柳河町	水戸市 成沢町	常陸大宮市 三美	水戸市 飯富町
対象作物	加工かんしょ	しょうが			
圃場位置	常陸大宮市 三美	城里町 上入野			

かん水区では、無かん水区と比べて最大75%の収量増が確認できた。

b. 給水スタンド利用状況調査

設置位置：常陸大宮市三美（三美地区）

計139回(計461,500m³)の利用。

4～5月における利用回数が多い。ねぎ、レタス、とうもろこし、芋に多く利用された。

当調査内容は、今後の畑かん営農の啓発のための基礎資料として活用していく。

(4) 機 構

評議員数(9)		役員数(18)					事務局(4)			
市町村	県	15(団体役員1,市町村12,県2)				3(市2,県1)	事務局長	次長	係長	技師
		理事長	副理事長	常務理事	理事	監事				
8	1	1	3	1	10	3	1	1	1	1

[関係市町村]

4市3町1村（水戸市,ひたちなか市,常陸大宮市,那珂市,茨城町,大洗町,城里町,東海村）